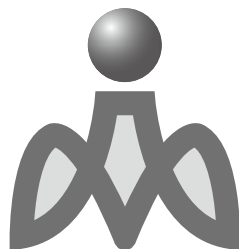


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和8年4月～6月実績〕
〔令和8年7月～9月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【Ⅰ】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 164企業

2. 調査対象期間

第1四半期 令和8年4月～6月期 「調査時点：令和8年6月1日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービス業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

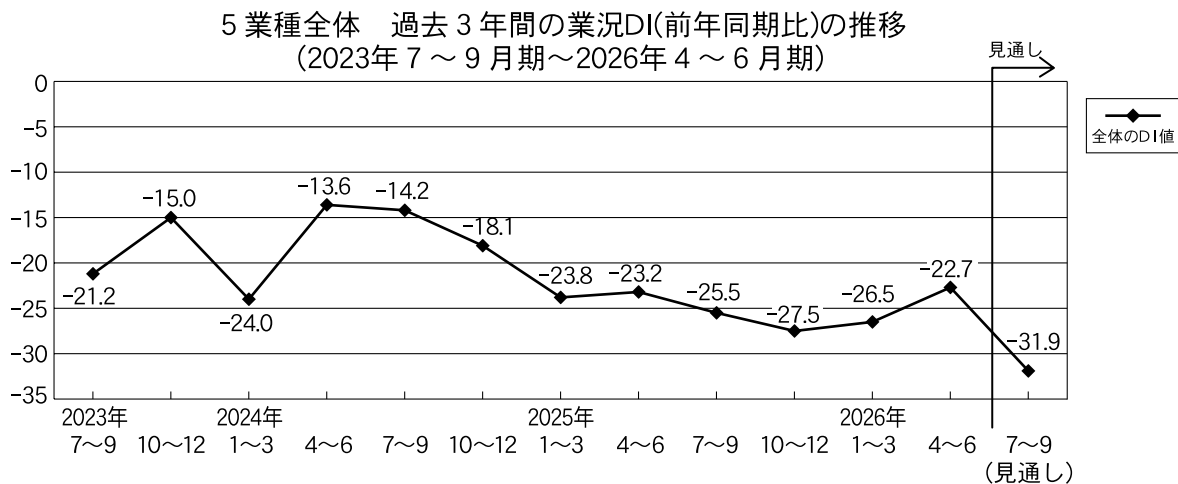
本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断DI、及び、産業別の業況判断DIについてみる。

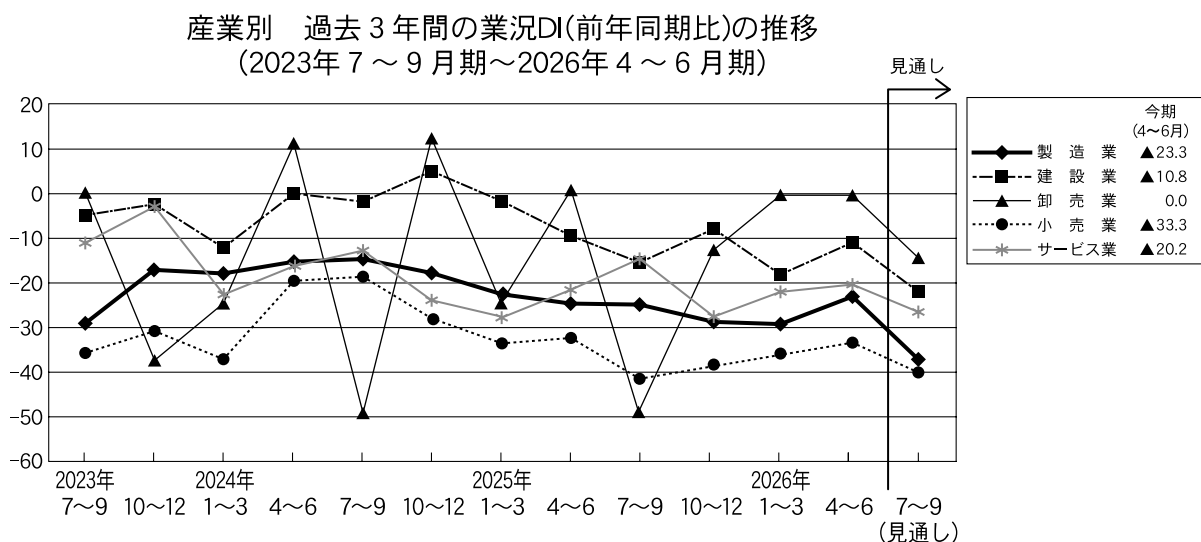
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断DIである。今期の業況判断DI（前年同期比）は▲22.7であり、前期比で3.8ポイント改善している。しかし、来期については▲31.9へと大きく悪化の見通しとなっている。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断DIである。

製造業は▲23.3で前期比+6.2ポイント、建設業が▲10.8で前期比+7.6ポイント、卸売業が0.0で前期比±0.0ポイント、小売業が▲33.3で前期比+2.4ポイント、サービス業が▲20.2で前期比+1.6ポイントであった。

来期は、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の全業種が悪化の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象164企業に甲府・富士吉田地域等からの108企業を含めた272サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況DIについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

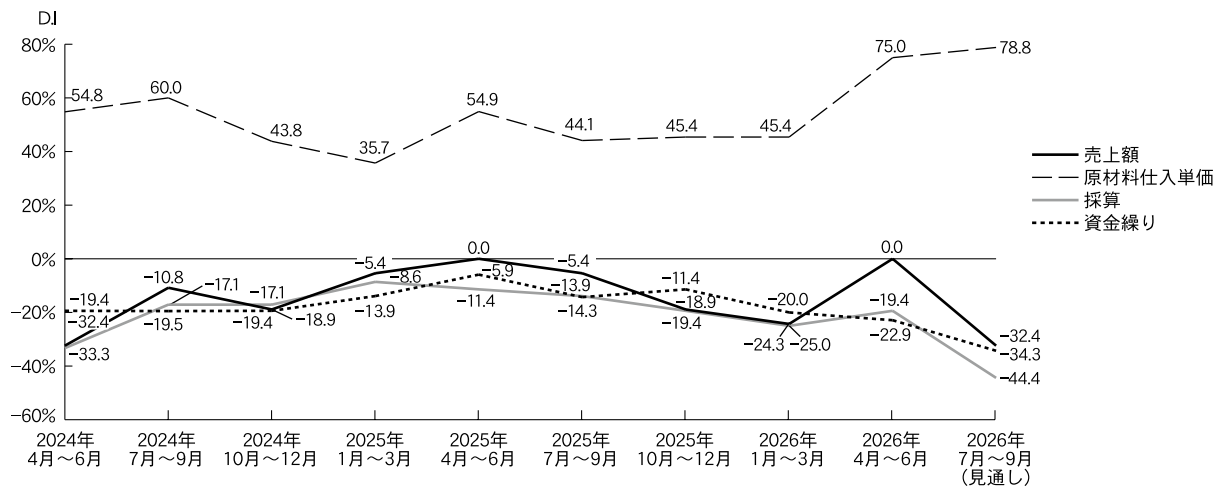
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期0.0と前期比で24.3ポイント改善したが、来期は▲32.4へ悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期75.0と前期比で29.6ポイント上昇（悪化）し、来期も78.8へ上昇（悪化）の見通し。採算D Iは、今期▲19.4と前期比で5.6ポイント改善したが、来期は▲44.4へ悪化の見通しである。資金繰りD Iは、今期▲22.9と前期比で2.9ポイント悪化し、来期はさらに▲34.3へ悪化の見通しである。

今期は売上額D I、採算D Iが改善し、原材料仕入単価D I、資金繰りD Iが悪化であった。来期は全てのD Iが悪化の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

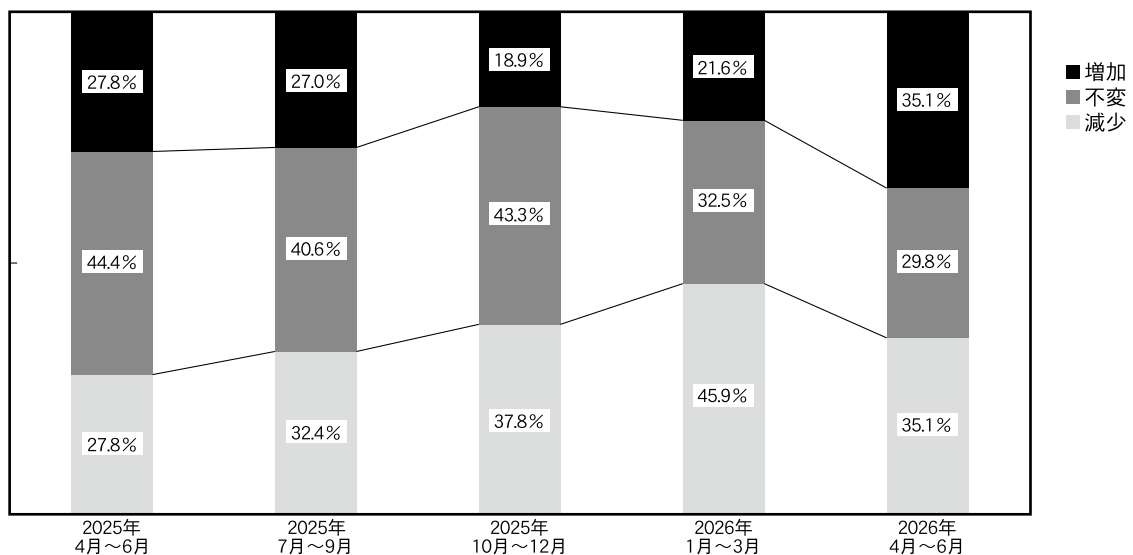
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、35.1%（13社）に増加（前期比+5社）している。

「不変」は29.8%（11社）に減少（前期比▲1社）し、

「減少」は35.1%（13社）に減少（前期比▲4社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数36社））

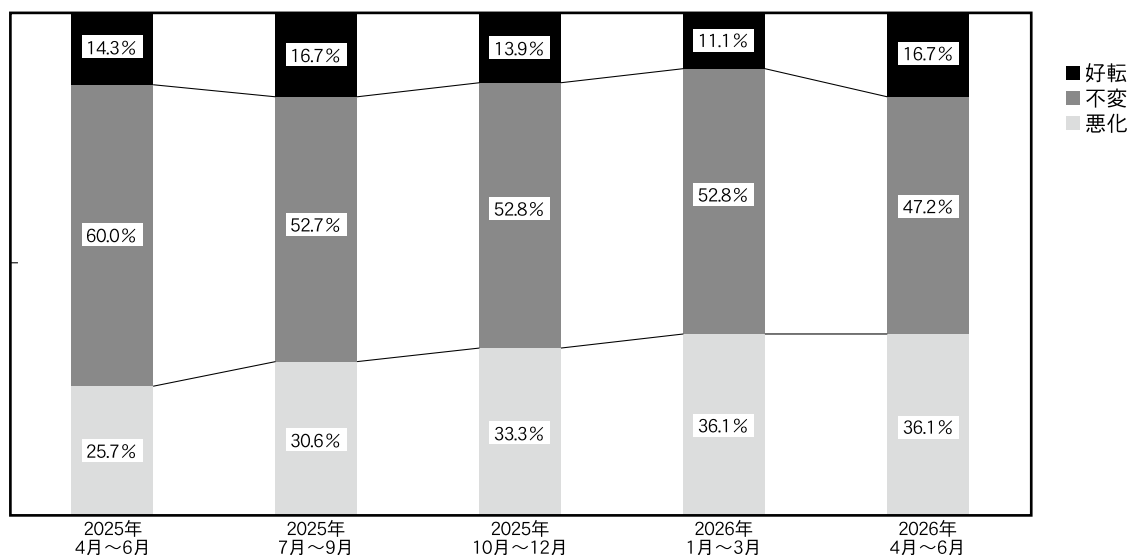
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、16.7%（6社）に増加（前期比+2社）している。

「不変」は47.2%（17社）に減少（前期比▲2社）し、

「悪化」は36.1%（13社）で前回と変化なしである。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

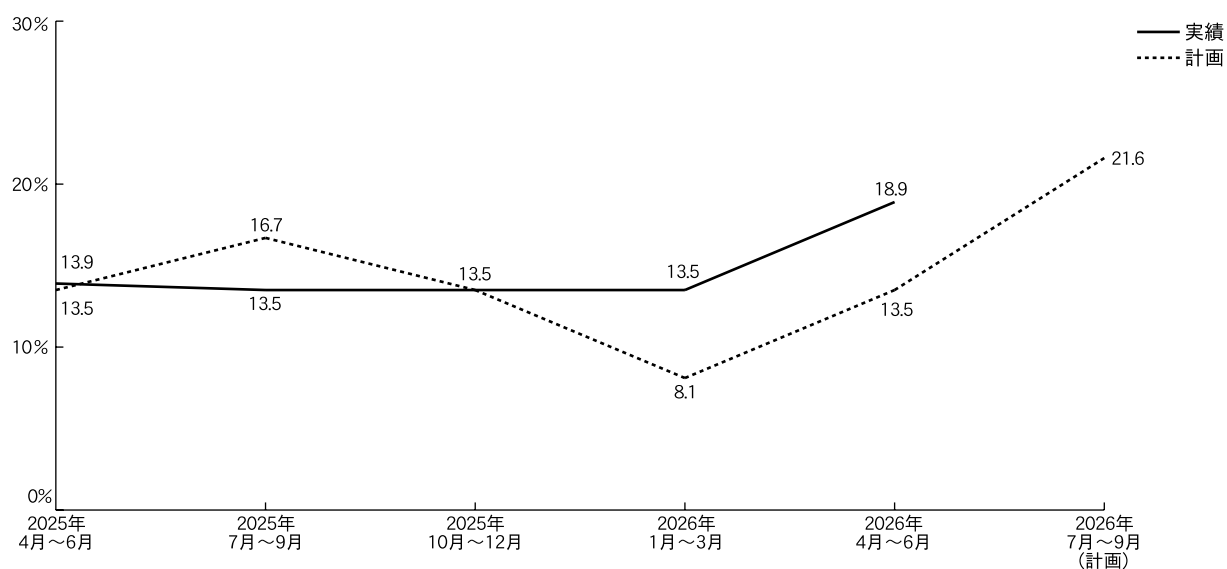


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.9%（7社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「付帯施設」が3件、「生産設備」が2件、「土地」「工場建物」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については21.6%（8社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「生産設備」が5件、「OA機器」が4件、「付帯施設」が2件である。

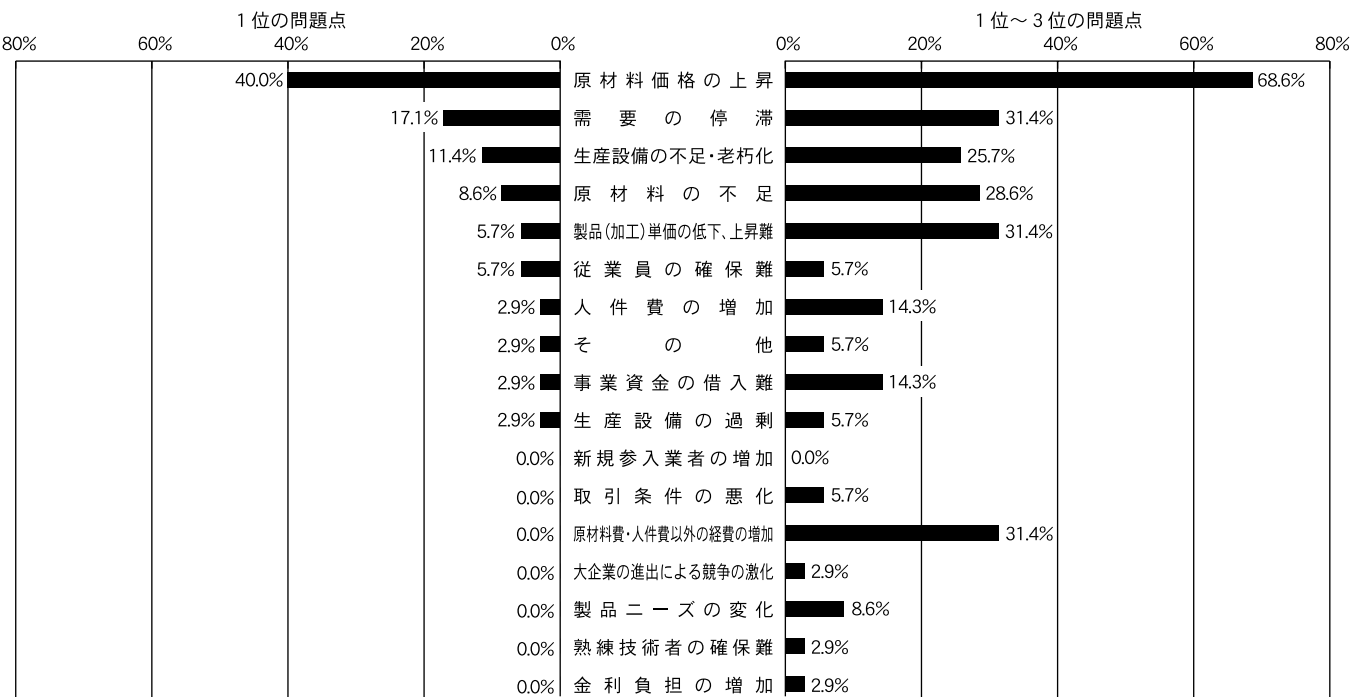
山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数35社）

まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。
1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の40.0%（14社）であり、2番目は「需要の停滞」の17.1%（6社）であった。
次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。
1番目に多かったのは「原材料価格の上昇」の38.7%（12社）であり、2番目は「需要の停滞」「製品（加工）単価の低下、上昇難」「原材料費・人件費以外の経費の増加」が同率の31.4%（11社）であった。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.6
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・同関連業	2	5.4
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	3	8.1
金属製品製造業	4	10.8
一般機械器具製造業	12	32.4
電気機械器具製造業	2	5.4
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	6	16.2
合 計	37	100.0

従業員規模別

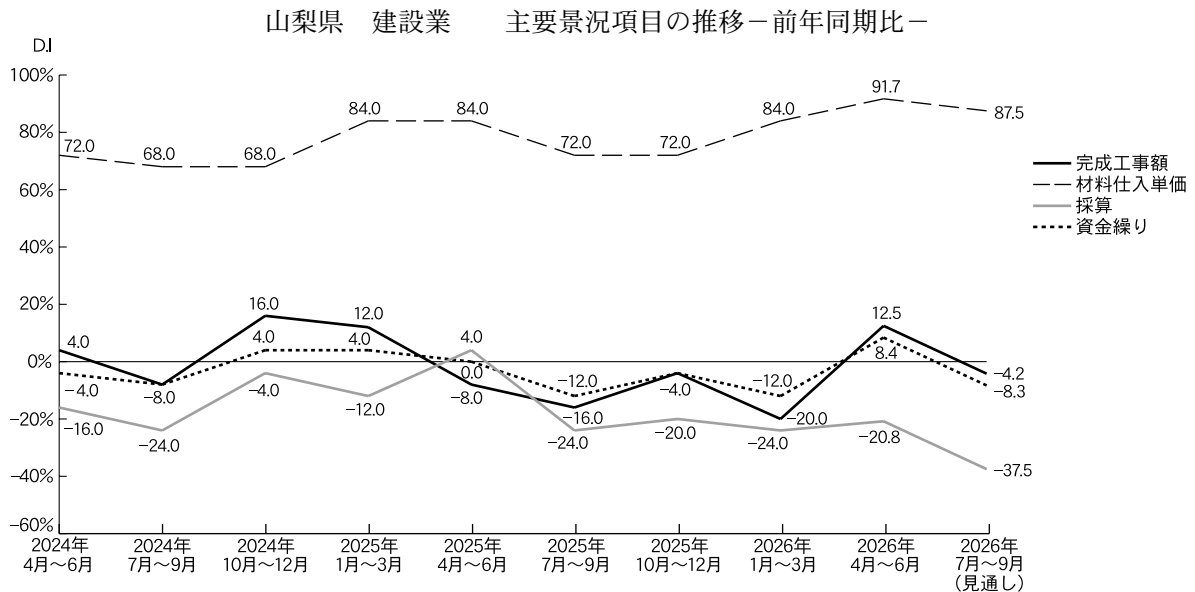
従業員数	常 雇 い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	18	48.7	15	40.6
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	10	27.0
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
21人～50人以下	1	2.7	1	2.7
合 計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期12.5と前期比で32.5ポイント大幅に改善したが、来期は▲4.2へ悪化の見通し。材料仕入単価D Iは、今期91.7と前期比で7.7ポイント上昇（悪化）したが、来期は87.5へ下降（改善）の見通しである。採算D Iは、今期▲20.8と前期比で3.2ポイント改善したが、来期は▲37.5へ悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期8.4と前期比で20.4ポイント改善したが、来期は▲8.3へ悪化の見通しである。

今期は完成工事額D I、採算D I、資金繰りD Iが改善し、材料仕入単価D Iが悪化であった。来期は材料仕入単価D Iが改善の見通しであるが、それ以外のD Iは全て悪化の見通しである。



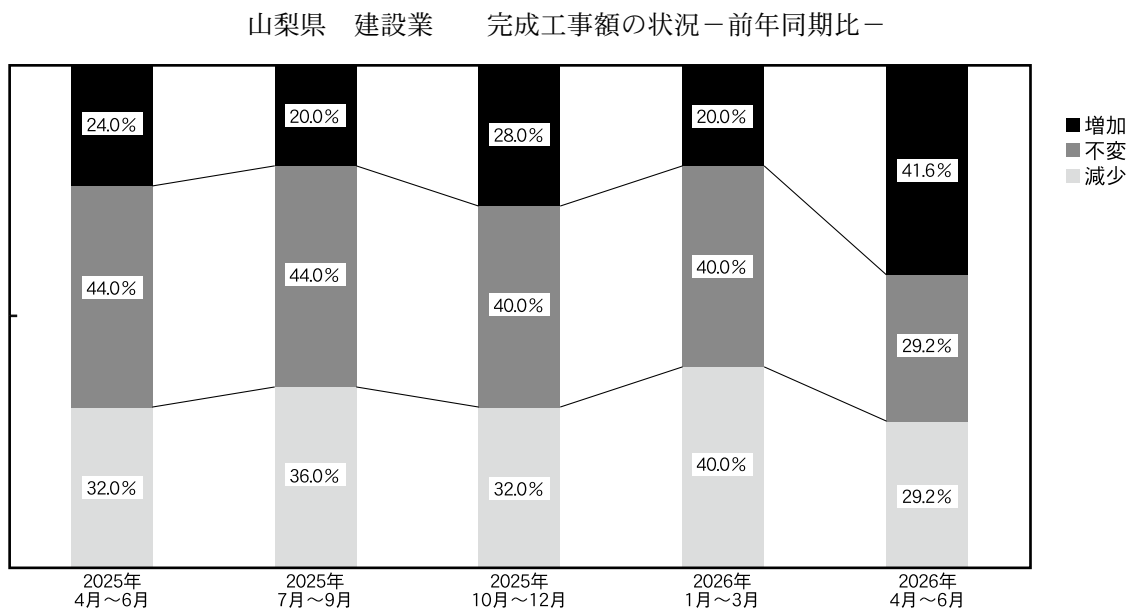
(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数24社（前回25社）））

「増加」と答えた企業の割合は、41.6%（10社）に増加（前期比+5社）している。

「不変」は29.2%（7社）に減少（前期比▲3社）し、

「減少」は29.2%（7社）に減少（前期比▲3社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数24社（前回25社）））

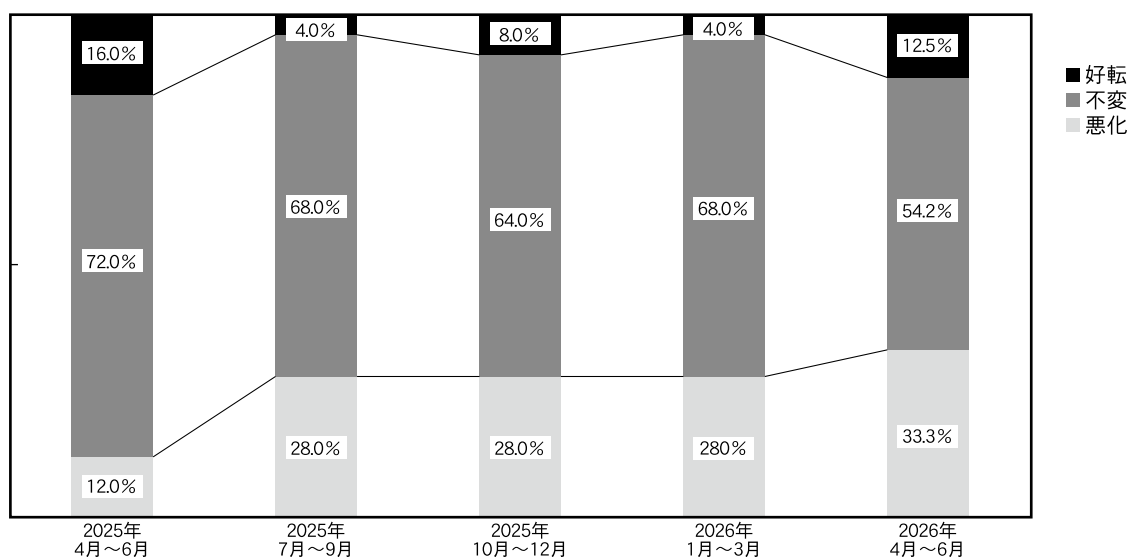
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.5%（3社）に増加（前期比+2社）している。

「不変」は54.2%（13社）に減少（前期比▲4社）し、

「悪化」は33.3%（8社）に増加（前期比+1社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

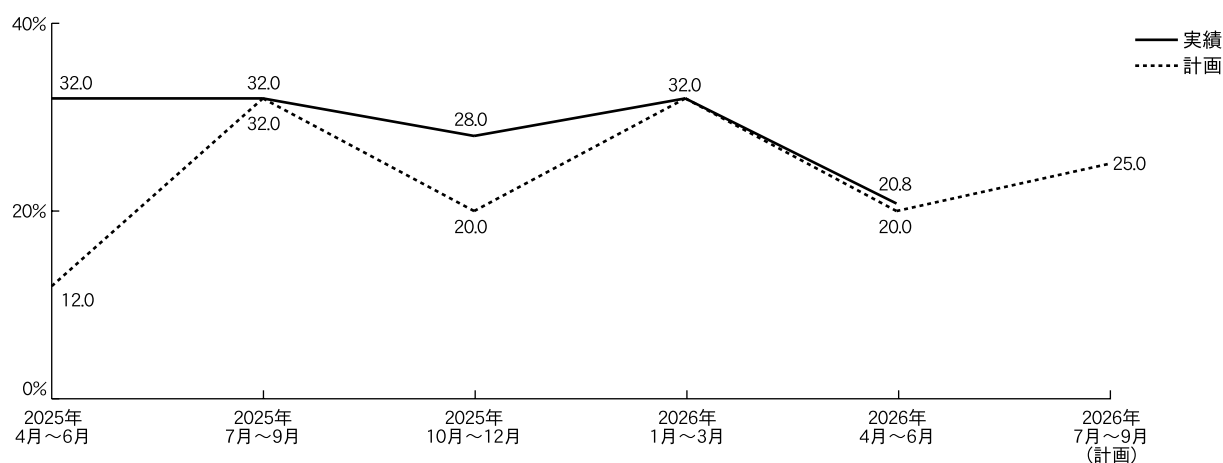


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数24社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は20.8%（5社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「建設機械」「OA機器」が2件ずつ、「土地」が1件であった。

来期の計画については、25.0%（6社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「建設機械」が3件、「車両・運搬具」「OA機器」が2件ずつ、「建物」「その他」が1件ずつになる。

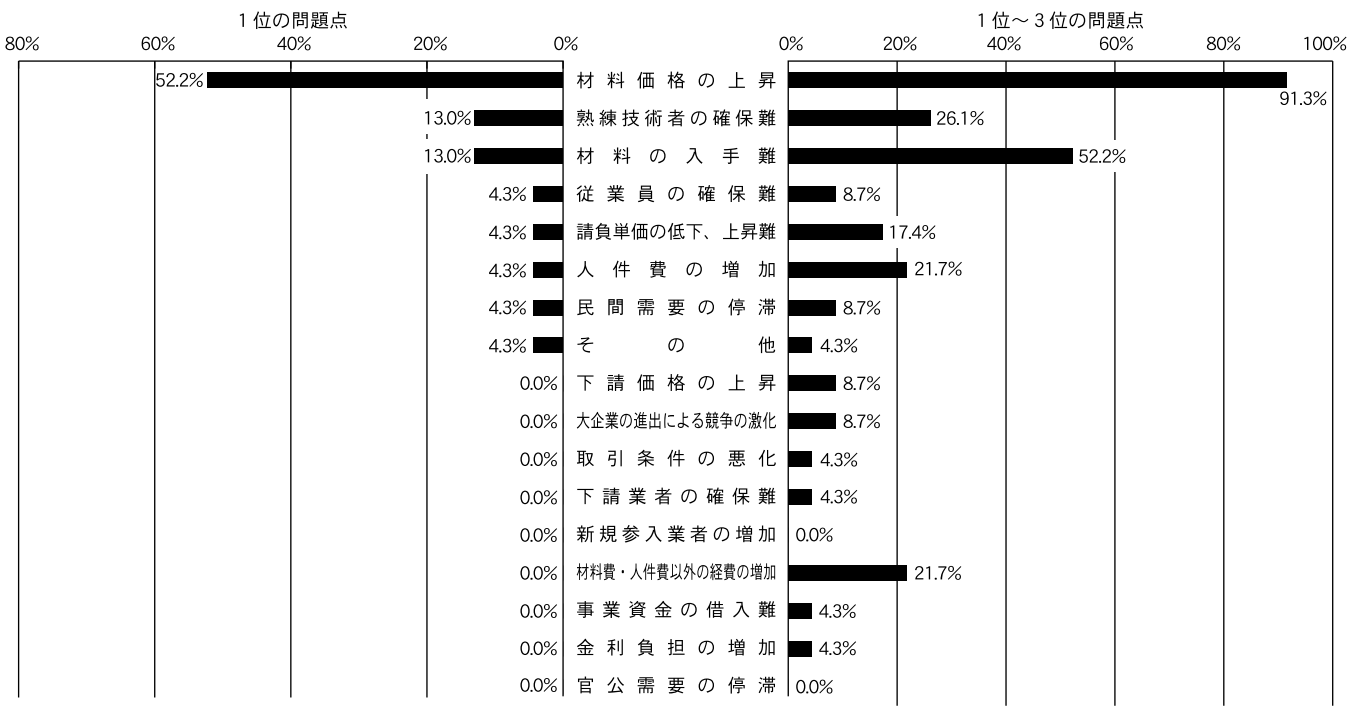
山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数23社）

まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。
1番目に多かったのは、「材料価格の上昇」の52.2%（12社）で、21期連続。2番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」と「材料の入手難」の13.0%（3社）であった。
次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。
こちらも、1番目に多かったのは「材料価格の上昇」の91.3%（21社）であり、2番目に多かったのは「材料の入手難」の52.2%（12社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
総合工事業	18	75.0
職別工事業	4	16.7
設備工事業	2	8.3
合 計	24	100.0

従業員規模別

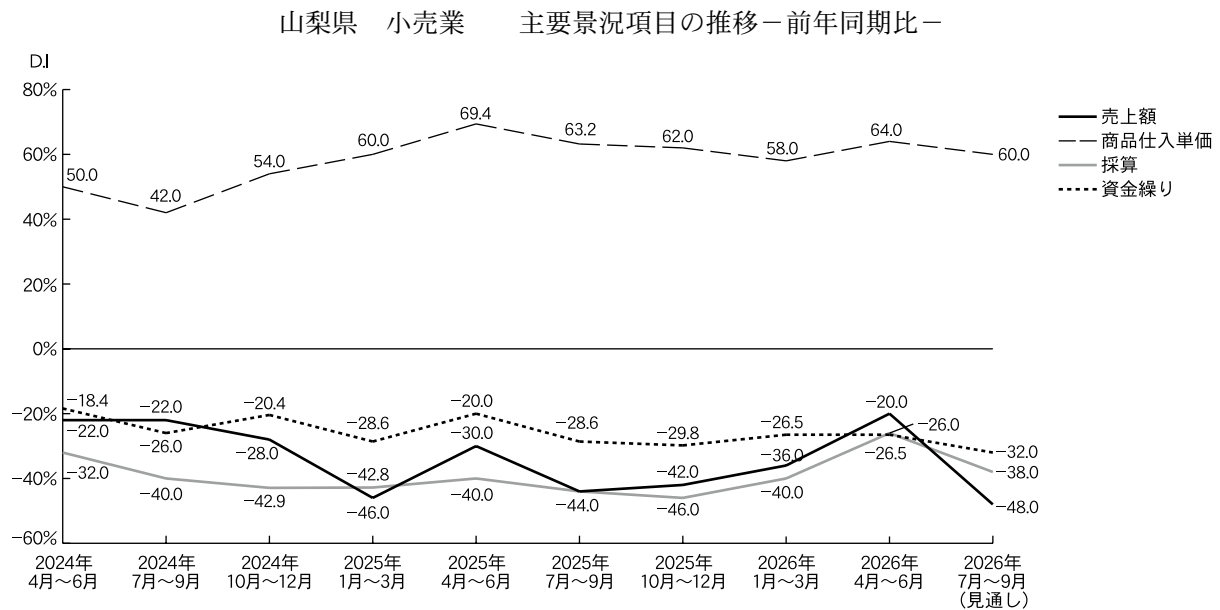
従業員数	常 雇 い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	8	33.4	7	29.2
3人～5人以下	5	20.8	6	25.0
6人～10人以下	6	25.0	6	25.0
11人～20人以下	5	20.8	5	20.8
合 計	24	100.0	24	100.0

4. 小 売 業 の 動 向

(1) 景 況 概 観

売上額D Iは、今期▲20.0と前期比で16.0ポイント改善したが、来期は▲48.0へ大きく悪化の見通しである。商品仕入単価D Iは、64.0と前期比で6.0ポイント上昇（悪化）したが、来期は60.0へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲26.0と前期比で14.0ポイント改善したが、来期は▲38.0へ悪化の見通し。資金繰りD Iは、今期▲26.5と前期から変化無く、来期は▲32.0へ悪化の見通しである。

今期は、売上額D I、採算D Iが改善、商品仕入単価D Iが悪化した。来期は、商品仕入単価D Iが改善の見通しであるが、それ以外のD Iは全て悪化の見通しである。



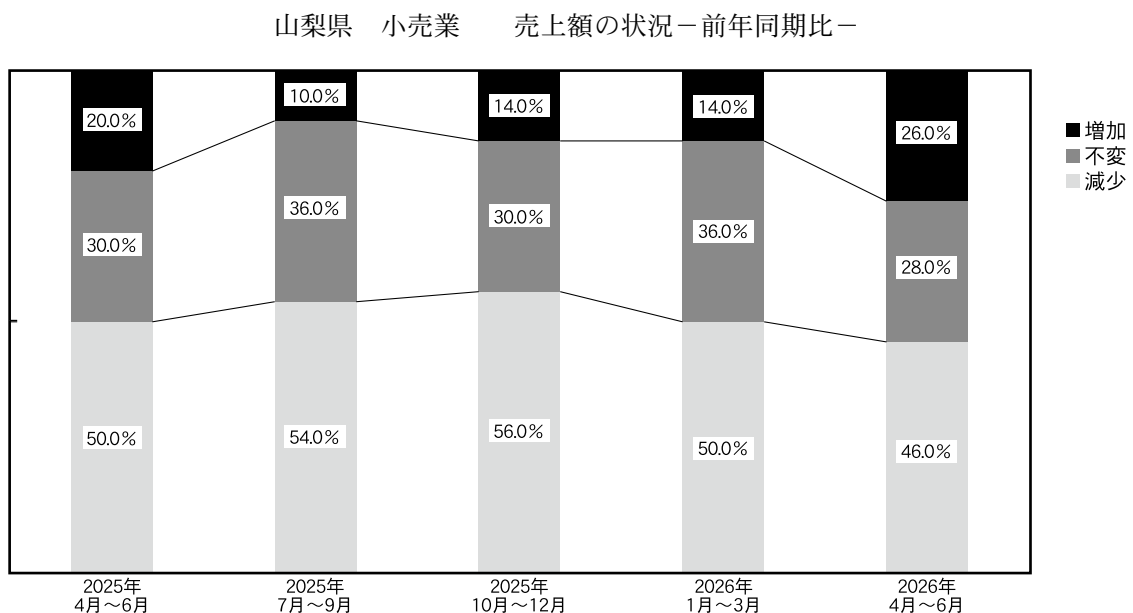
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、26.0%（13社）に増加（前期比+6社）している。

「不変」は28.0%（14社）に減少（前期比▲4社）し、

「減少」は46.0%（23社）に減少（前期比▲2社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数50社））

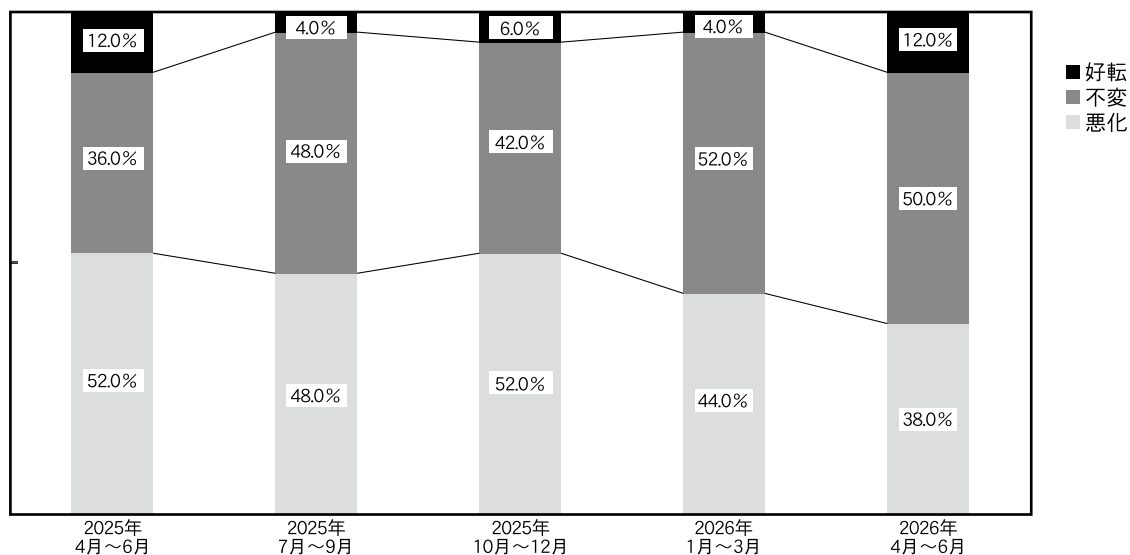
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0%（6社）に増加（前期比+4社）している。

「不変」は50.0%（25社）に減少（前期比▲1社）し、

「悪化」は38.0%（19社）に減少（前期比▲3社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

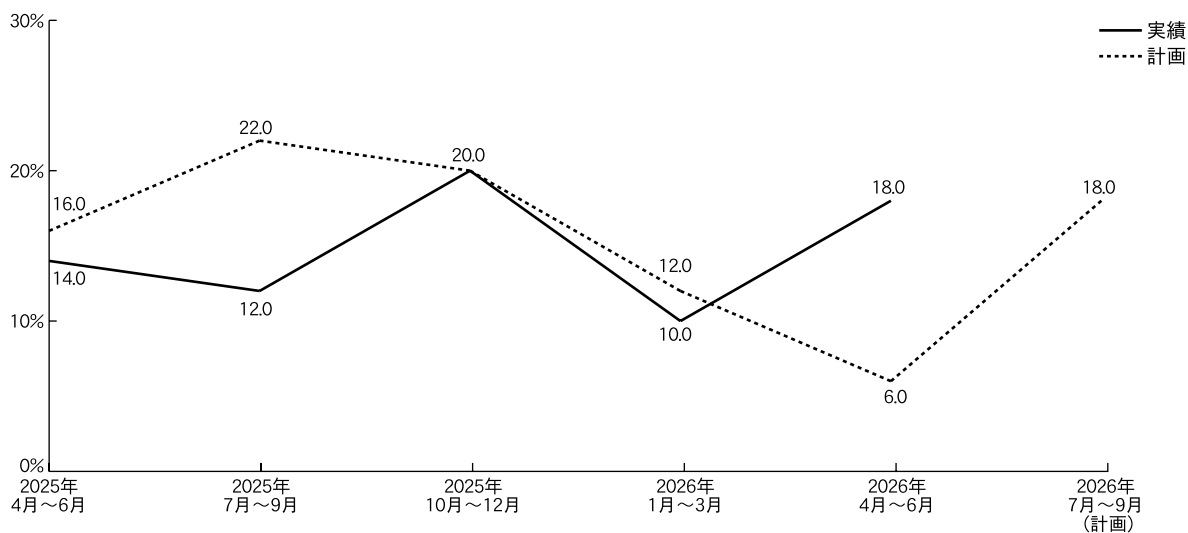


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.0%（9社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「店舗」「販売設備」「付帯施設」「その他」が2件ずつ、「土地」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画についても、18.0%（9社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「店舗」「販売設備」「その他」が3件ずつ、「付帯施設」「福利厚生施設」が2件ずつ、「土地」「OA機器」が1件ずつになる。

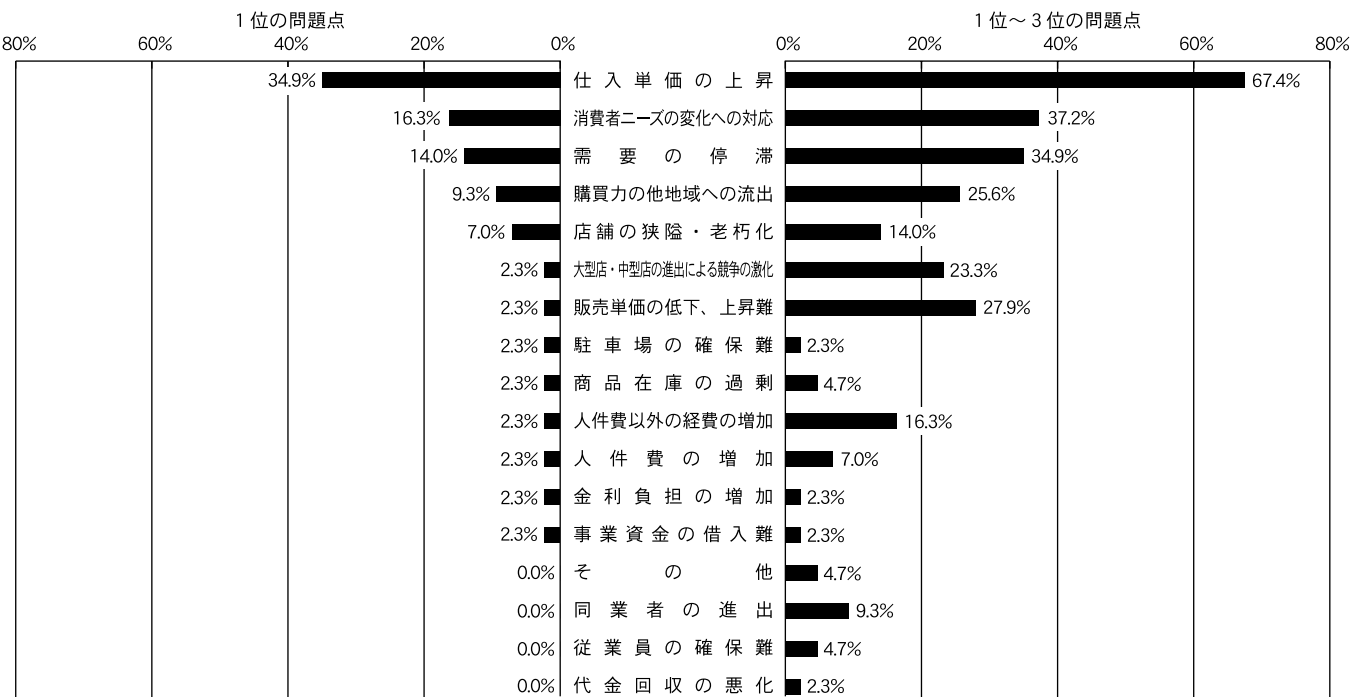
山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数43社）

まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。
1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の34.9%（15社）であり、2番目は「消費者ニーズの変化」の16.3%（7社）であった。
次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。
こちらも、1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の67.4%（29社）であり、2番目も「消費者ニーズの変化」の37.2%（16社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
織物・衣服・身の回り品小売業	11	22.0
飲食物品小売業	18	36.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	15	30.0
合 計	50	100.0

従業員規模別

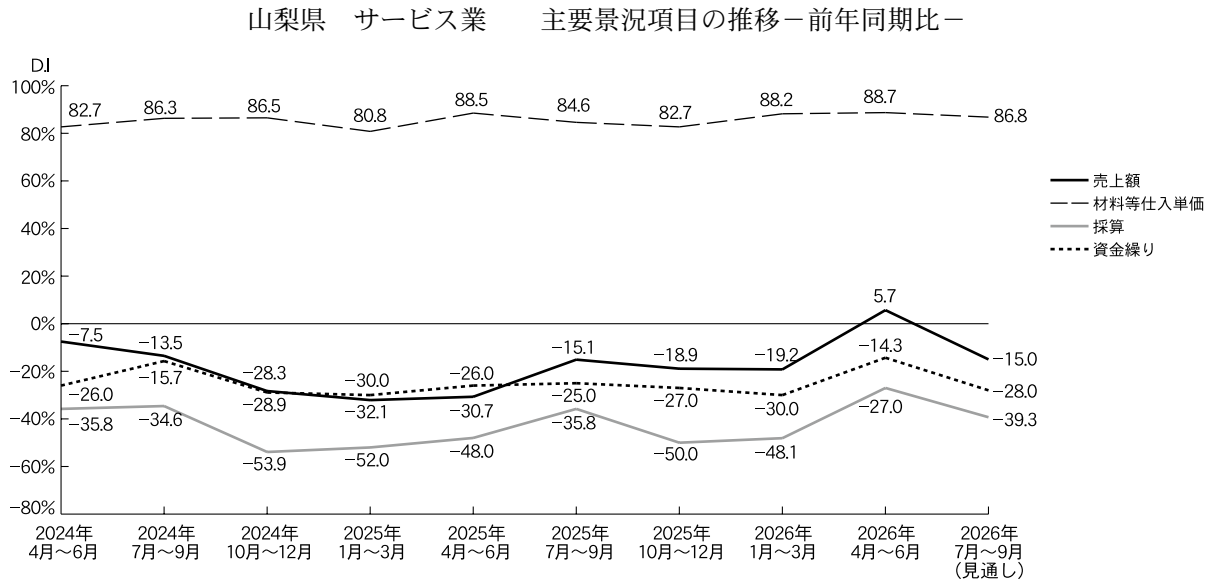
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常 雇 い			
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2 人 以 下	46	92.0	38	76.0
3 人 ～ 5 人 以 下	4	8.0	11	22.0
6 人 ～ 10 人 以 下	0	0.0	1	2.0
合 計	50	100.0	50	100.0

5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期5.7と前期比で24.9ポイントの大幅改善を示したが、来期は▲15.0へ悪化の見通し。材料等仕入単価D Iは、今期88.7と前期比で0.5ポイント上昇（悪化）し、来期は86.8へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲27.0と前期比で21.1ポイント改善したが、来期は▲39.3へ悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期▲14.3と前期比で15.7ポイント改善したが、来期は▲28.0へ悪化の見通しである。

今期は売上額D I、採算D I、資金繰りD Iが改善し、材料等仕入単価D Iは悪化した。来期は材料等仕入単価D Iのみが改善の見通しで、他のD Iは全て悪化の見通しである。



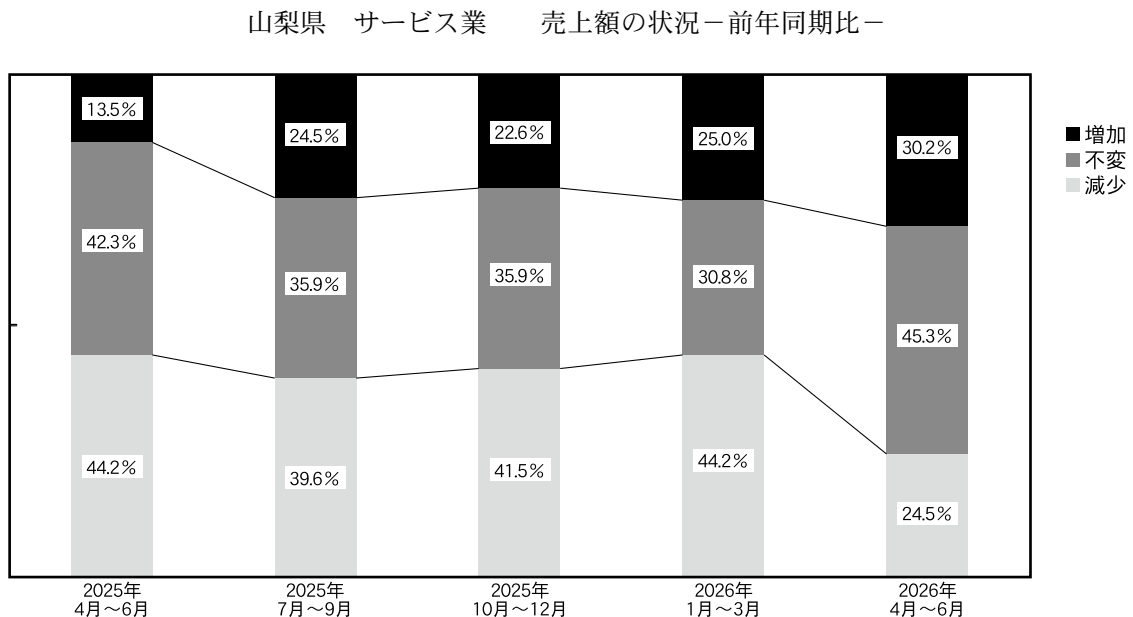
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社（前回52社）））

「増加」と答えた企業の割合は、30.2%（16社）に増加（前期比＋3社）している。

「不変」は45.3%（24社）に増加（前期比＋8社）し、

「減少」は24.5%（13社）に大きく減少（前期比▲10社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数52社））

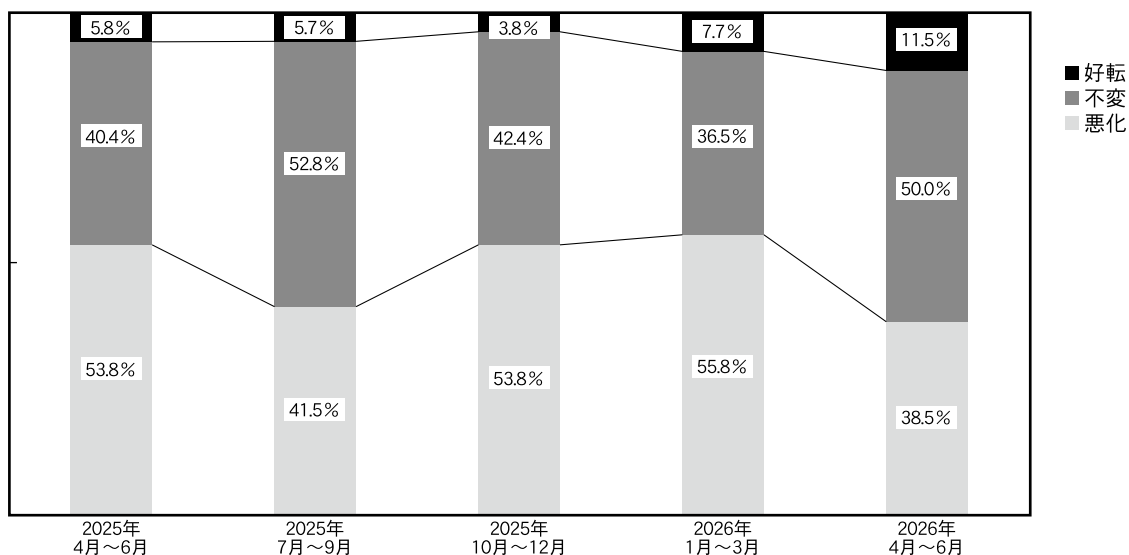
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、11.5%（6社）に増加（前期比+2社）している。

「不変」は50.0%（26社）に増加（前期比+7社）し、

「悪化」は38.5%（20社）に減少（前期比▲9社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

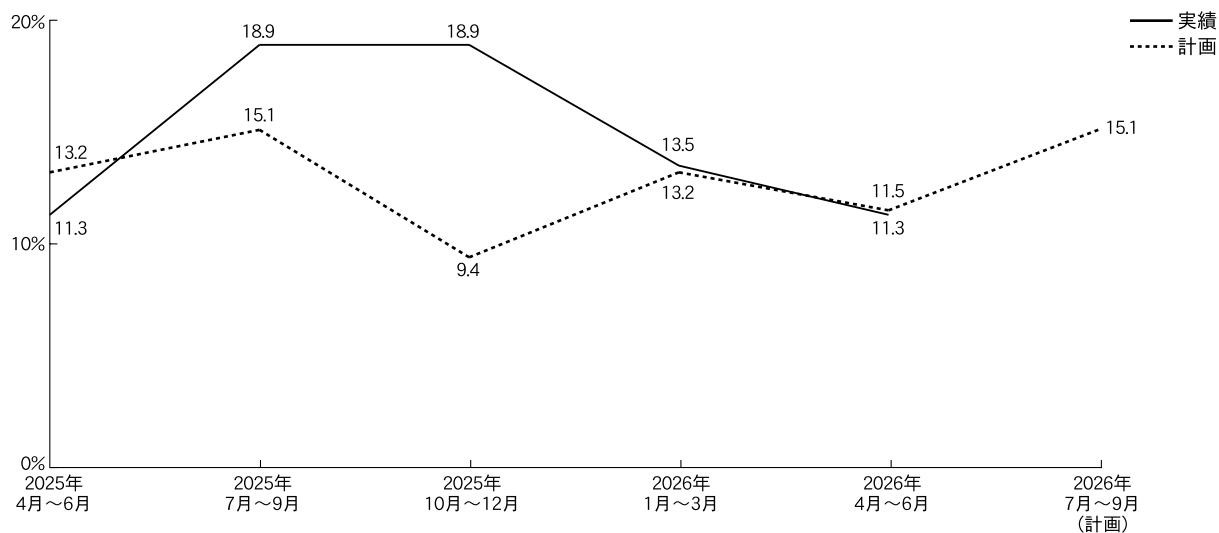


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は11.3%（6社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「建物」「サービス」「付帯施設」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、15.1%（8社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「サービス」が3件、「その他」が2件、「土地」「建物」「付帯施設」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数44社）

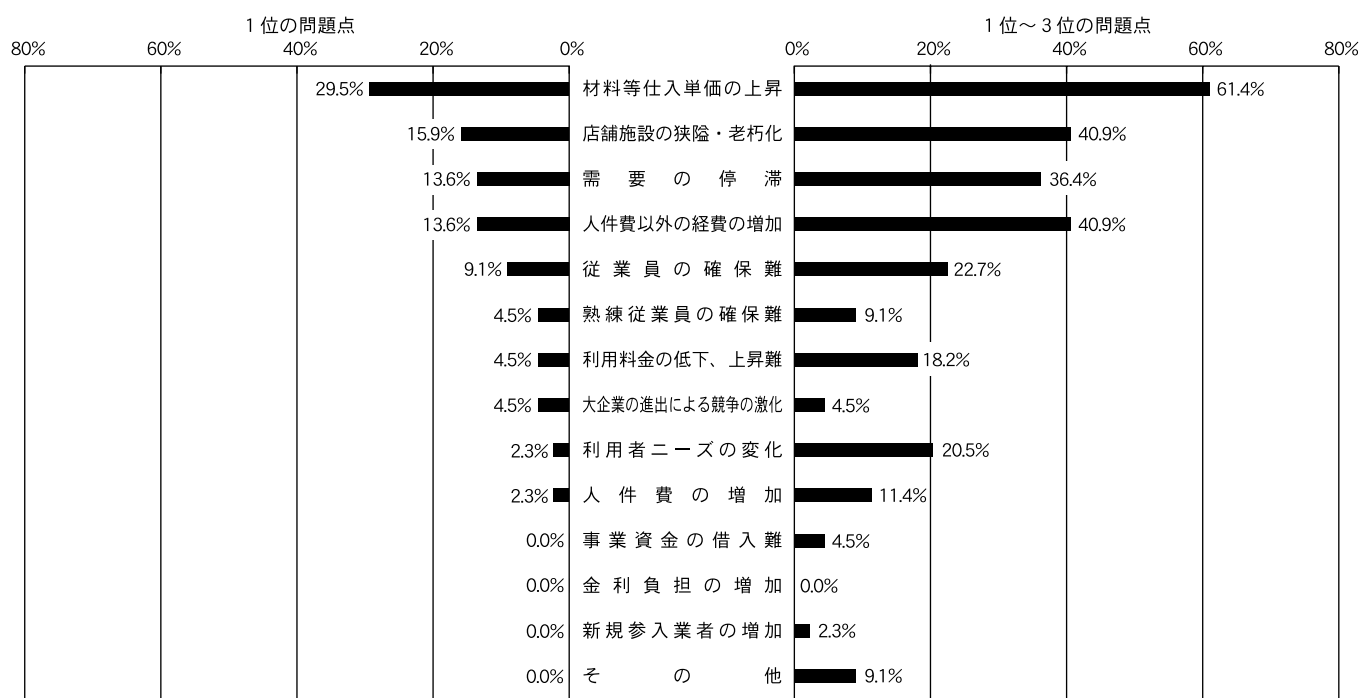
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の29.5%（13社）で、15期連続。2番目は「店舗施設の狭隘・老朽化」の15.9%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちら、1番目に多かったのは「材料等仕入単価の上昇」の61.4%（27社）であるが、2番目は「店舗施設の狭隘・老朽化」「人件費以外の経費の増加」が同率の40.9%（18社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	20	37.8
宿泊業	6	11.3
運送業	1	1.9
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.7
合 計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	常 雇 い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	44	83.0	39	73.6
3人～5人以下	8	15.1	8	15.0
6人～10人以下	0	0.0	3	5.7
11人～20人以下	1	1.9	3	5.7
合 計	53	100.0	53	100.0